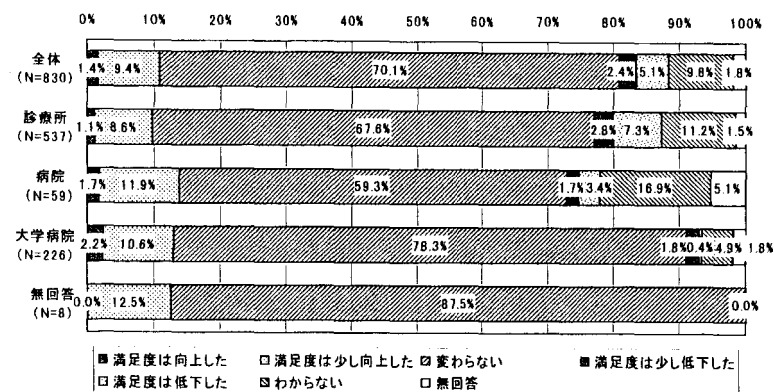


(6) 歯科医師の立場から見た文書提供を受けた患者の主な反応

1) 治療に対する患者の満足度

歯科医師の立場からみた、治療に関する患者の満足度についてみると、診療所においては、「変わらない」(67.6%)が最も多く、次いで「わからない」(11.2%)となっており、病院においては、「変わらない」(59.3%)が最も多く、次いで「わからない」(16.9%)となっている。また、大学病院においては、「変わらない」(78.3%)が最も多く、次いで「満足度は少し向上した」(10.6%)となっている。

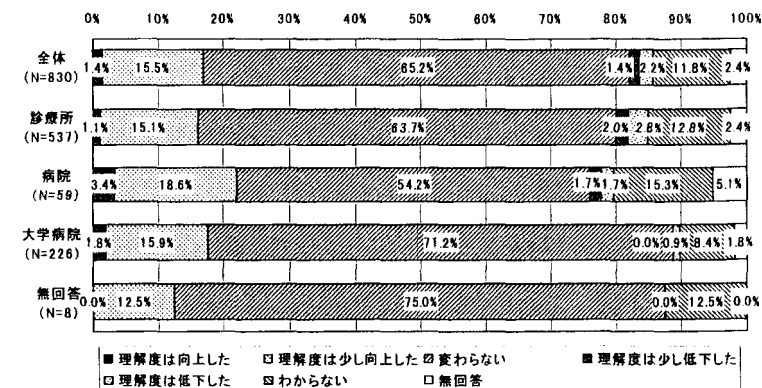
図表 29 治療に対する患者の満足度



2) 治療内容に関する患者の理解度

歯科医師の立場からみた、治療内容に関する患者の理解度についてみると、診療所、病院、大学病院のいずれの医療機関においても「変わらない」が最も多い結果であった。しかしながら、いずれの医療機関でも、約 20%程度が「理解度は向上した/理解度は少し向上した」と回答している。

図表 30 治療内容に関する患者の理解度



3) 患者の満足度・理解度と文書提供の診療への影響との関連

歯科医師からみた患者の満足度と文書提供の診療への影響（複数回答）との関連についてみると、「満足度は向上した/少し向上した」と回答した群では、「患者さんへの指導や説明がより確実に行えるようになった」、「患者さんの理解が以前より深まった」などの、影響の肯定的な回答が多く見られている。一方で、「患者さんの待ち時間が長くなった」との回答も 5 割以上を占めていた。歯科医師からみた患者の理解度と文書提供の診療への影響との関連においても、同様の傾向が見られた。

図表 31 患者の満足度と文書提供の診療への影響との関連（全体）

	合計	なにかで説明がより確実になった	患者さんへの指導や説明がより確実になった	口頭での説明がより深まった	以前より理解が深まった	実際の診療時間が短くなった	かかると感じる診療時間が短くなった	文書提供の診療時間が短くなった	待ち時間が長くなった	文書提供の診療時間が長くなった	間違った診療を受けた	文書提供の診療が長くなった	文書提供の診療が短くなった	特にない	その他	無回答
合計	830	85	9	62	452	187	248	655	511	20	163	13				
		10.2%	1.1%	7.5%	54.5%	22.5%	29.9%	78.9%	61.6%	2.4%	19.6%	1.6%				
満足度は向上した	12	10	7	4	45	17	23	66	51	2	13	1				
		83.3%	-	58.3%	33.3%	16.7%	25.0%	50.0%	41.7%	-	16.7%	-				
満足度は少し向上した	78	34	4	25	37	15	20	51	43	-	11	-				
		43.6%	5.1%	32.1%	47.4%	19.2%	25.6%	65.4%	55.1%	-	14.1%	-				
変わらない	582	35	5	28	319	138	184	482	368	11	100	1				
		6.0%	0.9%	4.8%	54.8%	22.0%	31.6%	82.8%	63.2%	1.9%	17.2%	0.2%				
満足度は少し低下した	20	-	-	-	15	11	19	8	17	-	7	-				
		-	-	-	75.0%	55.0%	40.0%	95.0%	85.0%	-	35.0%	-				
満足度は低下した	42	-	-	-	34	19	8	40	33	-	23	-				
		-	-	-	81.0%	45.2%	19.0%	95.2%	78.6%	-	54.8%	-				
わからない	81	5	-	2	40	10	23	52	43	9	20	2				
		6.2%	-	2.5%	49.4%	12.3%	28.4%	64.2%	53.1%	11.1%	24.7%	2.5%				
無回答	15	1	-	-	3	2	5	2	2	-	10	-				
		6.7%	-	-	20.0%	13.3%	13.3%	33.3%	13.3%	-	66.7%	-				

図表 32 患者の理解度と文書提供の診療への影響との関連（全体）

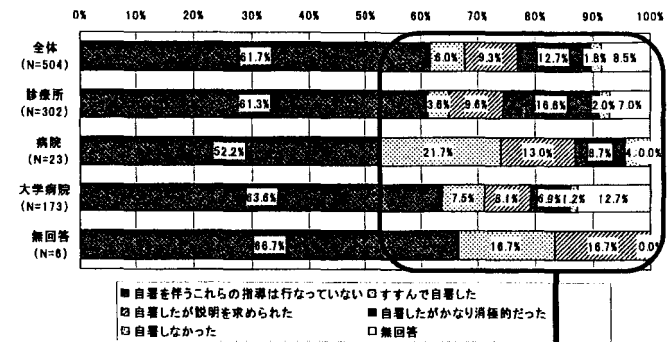
	合計	なにかで説明がより確実になった	患者さんへの指導や説明がより確実になった	口頭での説明がより深まった	以前より理解が深まった	実際の診療時間が短くなった	かかると感じる診療時間が短くなった	文書提供の診療時間が短くなった	待ち時間が長くなった	文書提供の診療時間が長くなった	間違った診療を受けた	文書提供の診療が長くなった	文書提供の診療が短くなった	特にない	その他	無回答
合計	830	85	9	62	452	187	248	655	511	20	163	13				
		10.2%	1.1%	7.5%	54.5%	22.5%	29.9%	78.9%	61.6%	2.4%	19.6%	1.6%				
理解度は向上した	12	7	4	1	1	1	6	5	3	-	1	-				
		58.3%	-	33.3%	8.3%	8.3%	50.0%	41.7%	-	-	25.0%	-				
理解度は少し向上した	129	51	4	43	59	23	40	89	77	-	15	-				
		39.5%	3.1%	33.3%	45.7%	17.8%	31.0%	69.0%	59.7%	-	11.6%	-				
変わらない	541	20	5	12	306	131	184	451	344	11	102	1				
		3.7%	0.9%	2.2%	56.6%	24.2%	30.3%	83.4%	63.6%	2.0%	18.9%	0.2%				
理解度は少し低下した	12	-	-	-	10	5	10	6	10	-	6	-				
		-	-	-	83.3%	41.7%	41.7%	83.3%	83.3%	-	50.0%	-				
理解度は低下した	18	-	-	-	16	12	4	18	15	-	9	-				
		-	-	-	88.9%	66.7%	22.2%	100.0%	83.3%	-	50.0%	-				
わからない	98	6	3	3	50	13	31	72	53	9	27	1				
		6.1%	-	3.1%	51.0%	13.3%	31.6%	73.5%	54.1%	9.2%	27.6%	1.0%				
無回答	20	1	-	-	7	2	3	9	7	-	10	-				
		5.0%	-	-	35.0%	10.0%	15.0%	45.0%	35.0%	-	50.0%	-				

4) 歯科疾患総合指導および継続管理診断に際して、自署を求められた患者の主な反応

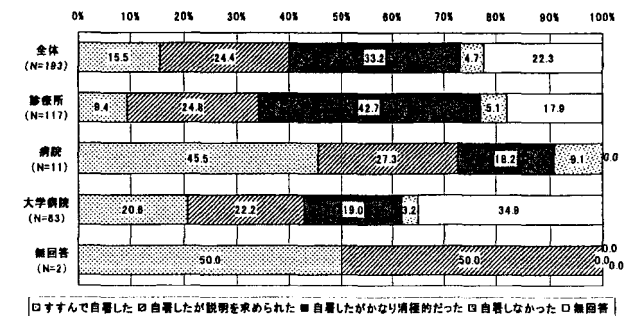
歯科疾患総合指導料 1 もしくは 2 を届出ている医療機関（504 施設：診療所、病院は施設ベース、大学病院は個人票ベース）において、歯科疾患総合指導および継続管理診断に際して、自署を求められた患者の反応を調査した結果、いずれの医療機関においても約 60% が「自署を伴うこれらの指導は行っていない」と回答している。また、実際に自署を求められた患者の反応では、診療所においては 16.6% が「自署したがかなり消極的だった」と回答している。

なお、実際に指導を行っている医療機関の状況をみると、病院では 45.5% が「進んで自署した」のに対し、診療所では「自署したがかなり消極的だった」が 42.7% を占めていた。

図表 33 歯科疾患総合指導および継続管理診断に際して、自署を求められた患者の主な反応



図表 34 歯科疾患総合指導および継続管理診断に際して、自署を求められた患者の主な反応（実際に歯科疾患総合指導および継続管理診断を実施している医療機関）



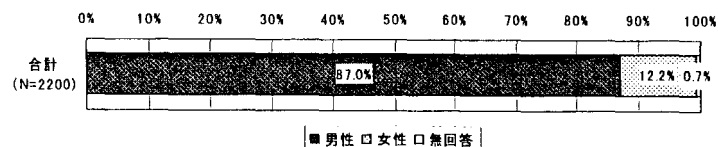
(7) 患者の状況 (患者調査より)

1) 患者の属性

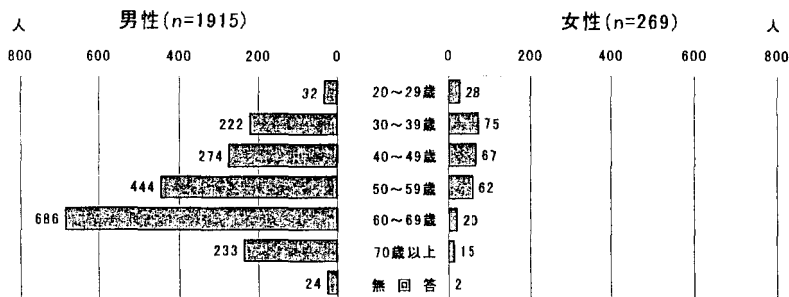
調査対象患者の性別は、男性が1,915人、女性が269人、無回答が16人、合計2,200人となっている。また、男性と女性の年齢分布についてみると、男性では「60～69歳」(686人)が最も多く、女性では「30～39歳」(75人)が最も多くなっている。

なお、本調査の対象者については、A健康保険組合の被保険者本人であるため、女性に比べ男性が多くなっている(平成18年9月時点の同健康保険組合データでは男性86.9%、女性13.1%)。

図表 35 調査対象患者の性別



図表 36 調査対象患者の年齢

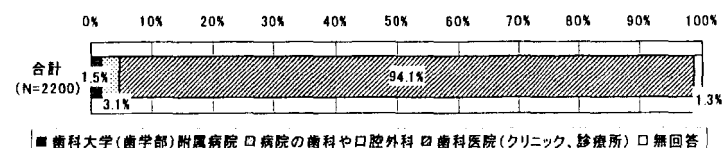


※性別無回答の16人を除く。

2) 現在受診している歯科医療機関の種類

現在受診している(あるいは過去4ヶ月以内に受診した)歯科医療機関の種類についてみると、「歯科医院(クリニック、診療所)」(94.1%)が最も多く、次いで「病院の歯科や口腔外科」(3.1%)となっており、ほとんどが歯科医院を受診しているという結果であった。なお、複数の歯科医療機関を受診した場合については、最近の受診について回答いただいている。

図表 37 受診している歯科医療機関の種類

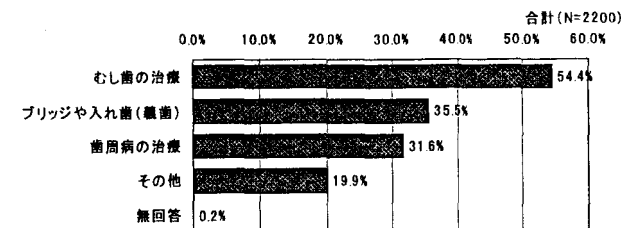


3) 歯科医療機関を受診した理由

歯科医療機関を受診した理由についてみると、「むし歯の治療」(54.4%)が最も多く、次いで「ブリッジや入れ歯(義歯)」(35.5%)となっている。

「その他」のうち、代表的な意見は、定期健診、歯石の除去、インプラント、歯が欠けた等であった。

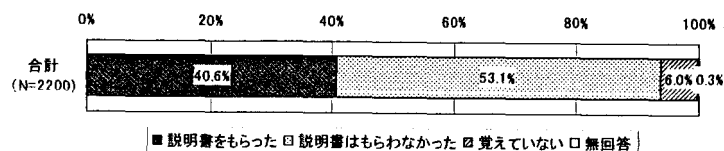
図表 38 受診理由(複数回答)



4) 説明書（文書）受領の有無

治療の際に説明書（文書）を受け取ったか否かについてみると、「説明書もらった」が40.6%（894人）、「説明書はもらわなかった」が53.1%（1,168人）、「覚えていない」が6.0%（131人）となっている（※必ずしも受診した患者すべてに説明書（文書）が交付されるわけではない）。

図表 39 説明書（文書）受領の有無

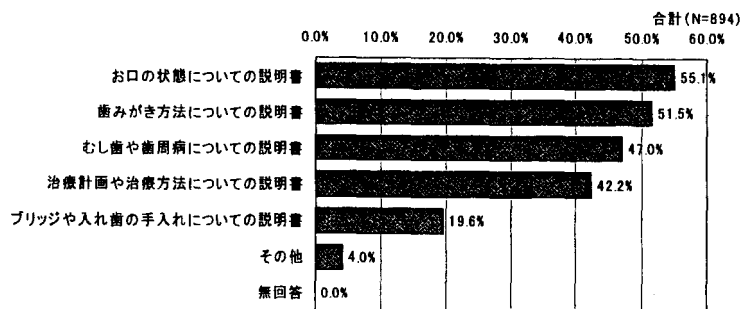


なお、本節の以降は説明書（文書）をもらった患者894人についての分析である。

5) 説明書（文書）の内容

説明書（文書）をもらった患者894人のうち、もらった説明書（文書）の内容についてみると、「お口の状態についての説明書」（55.1%）が最も多く、次いで「歯みがき方法についての説明書」（51.5%）となっている。

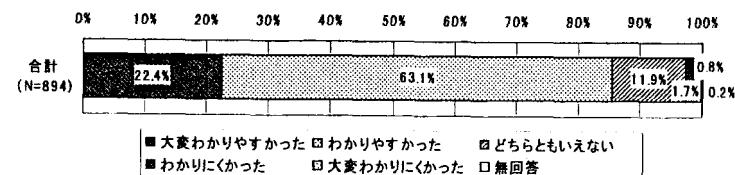
図表 40 説明書（文書）の内容（複数回答）



6) 説明書（文書）の内容のわかりやすさ

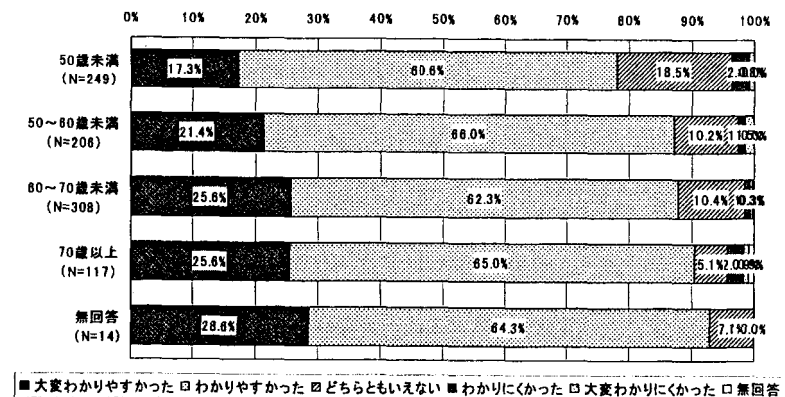
説明書（文書）のわかりやすさについてみると、「わかりやすかった」（63.1%）が最も多く、「大変わかりやすかった」（22.4%）を合わせると、約85%がわかりやすいと回答している。

図表 41 説明書（文書）のわかりやすさ



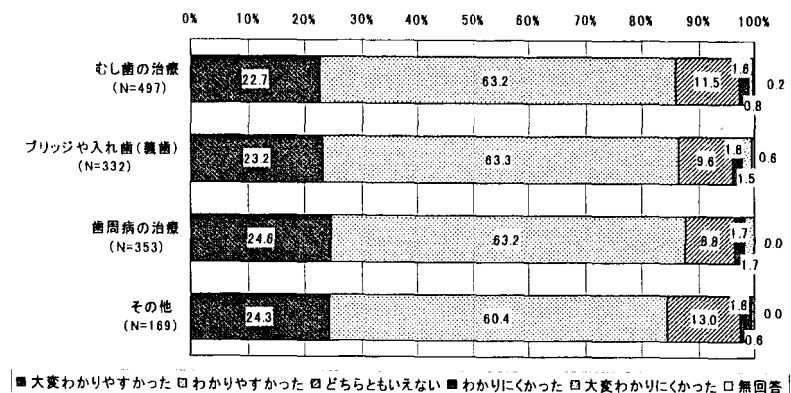
これを年齢別に見ると、50歳未満と比較して70歳以上の方が「大変わかりやすかった」、「わかりやすかった」との回答が多く、70歳以上では約90%がわかりやすいと回答している。年齢が上がるほど文書の内容を「わかりやすい」と捉える人が多い傾向であった。

図表 42 説明書（文書）のわかりやすさ（年齢別）



受診理由別（虫歯の治療、歯周病の治療、ブリッジや入れ歯（義歯）等）で、文書の「わかりやすさ」に大きな差は認められなかった。

図表 43 説明書（文書）のわかりやすさ（受診理由別）

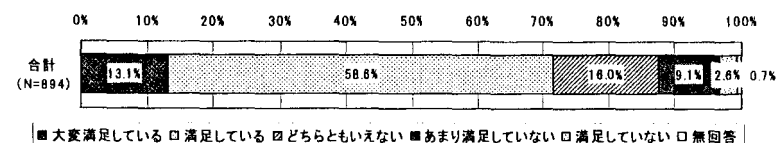


※受診理由は複数回答

7) 説明書（文書）をもらったことに対する満足度

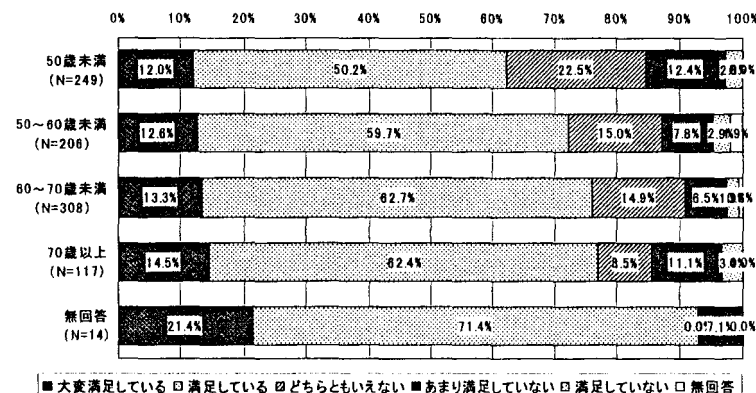
説明書（文書）をもらったことに対する満足度についてみると、「満足している」（58.6%）が最も多く、「大変満足している」（13.1%）とあわせると、約70%が満足していると回答している。

図表 44 説明書（文書）への満足度



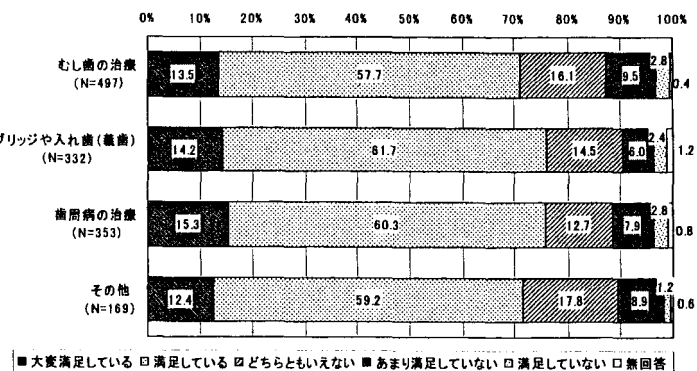
これを年齢別に見ると、50歳未満と比較して70歳以上の方が「大変満足している」、「満足している」との回答が多くなっており、年齢が上がるほど文書提供に対して満足感を得ている人が多かった。

図表 45 説明書（文書）への満足度（年齢別）



受診理由別（受診理由が虫歯の治療、歯周病の治療、ブリッジや入れ歯（義歯）等で、文書に対する満足度に大きな差は認められなかった。

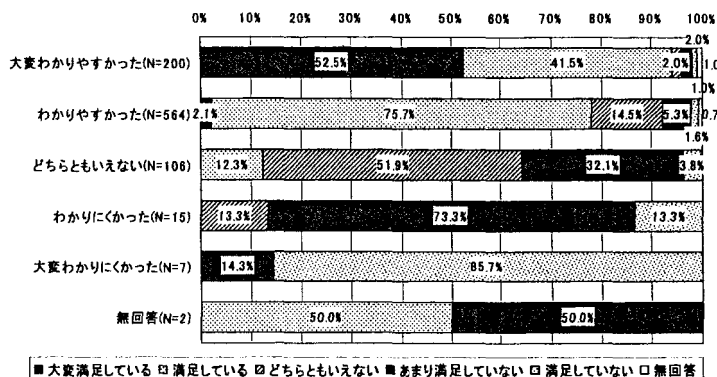
図表 46 説明書（文書）の満足度（受診理由別）



※受診理由は複数回答

わかりやすさ別に満足度をみたら、「大変わかりやすかった」とした患者については「大変満足している」が52.5%と最も多く、「大変わかりにくかった」とした患者については「満足していない」が85.7%と最も多く、わかりやすいと感じている人ほど満足度が高い傾向が読み取れる。

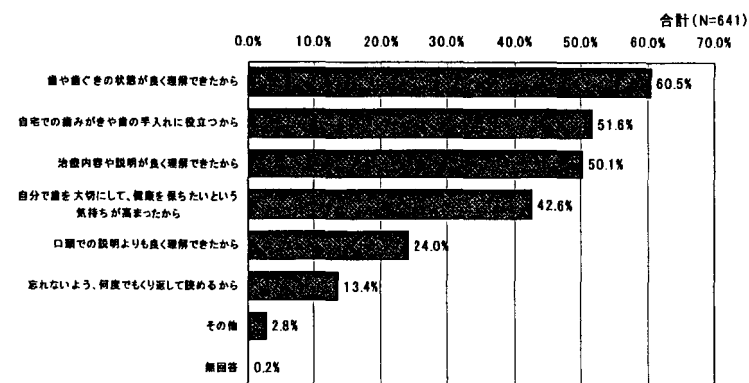
図表 47 わかりやすさ別の満足度（受診理由別）



8) 満足している理由 (n=641)

説明書（文書）をもらったことに対する満足度を「大変満足している」および「満足している」と回答した641人において、その理由についてみると、「歯や歯ぐきの状態が良く理解できたから」(60.5%)が最も多く、次いで「自宅での歯みがきや歯の手入れに役立つから」(51.6%)、「治療内容や説明が良く理解できたから」(50.1%)となっている。

図表 48 説明書（文書）に対して満足している理由（複数回答）



なお、「その他」の主な内容は以下のとおり。

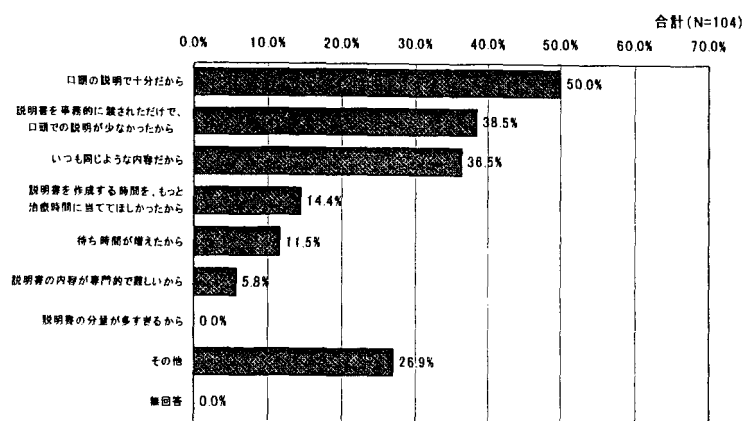
- ・ 今後、他の歯科医にかかる際の説明資料になると思うから。
- ・ 説明で良く理解できた。安心出来た。
- ・ 何をしているかわからないまま治療を受けるより、納得して治療を受ける方が医師への信頼感が持てるし、治療費にも納得できる。
- ・ 歯ぐきの状態を描画するコンピュータソフトがすばらしい。一目瞭然の可視化で。
- ・ 口頭で聞いた内容の再確認が出来た。
- ・ 口頭でも良く説明の上に又さらに説明書を頂き理解しやすい。
- ・ 歯の状態を図式にしての状況が良く理解出来た。
- ・ いつまで通うのかがわかったので。
- ・ 口頭の説明にプラス説明書を渡されるととてもいいに治療してもらっているような気持ちになる。
- ・ 指導を受けた歯みがき方法により歯グキがシッカリしてきた。
- ・ 口の内部に生じる病気が色々判った。

9) 満足していない理由 (n=104)

説明書(文書)をもらったことに対する満足度を「あまり満足していない」および「満足していない(不満である)」と回答した104人において、その理由についてみると、「口頭での説明で十分だから」(50.0%)が最も多く、次いで「説明書を事務的に渡されただけで、口頭での説明が少なかったから」(38.5%)、「いつも同じような内容だから」(36.5%)となっている。

その他では「内容が簡単すぎる」等の意見が散見された。

図表 49 説明書(文書)に対して満足していない理由(複数回答)



なお、「その他」の主な内容は以下のとおり。

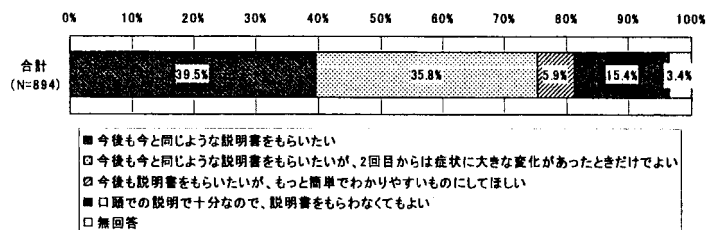
- ・ 口頭の説明がない。説明書を手渡すだけ。説明書は各種ある(歯周疾患用説明書、歯科衛生実地指導説明書等)これがわかりにくい。
- ・ 指導に具体性が欠ける(例)「生活習慣が原因」「注意してみがく」。
- ・ もっと一般の人にも分かり易い用語を使うべき。
- ・ むしろ、口頭で説明の方が応答式で判りやすい。
- ・ たいしたことが書いていない役にたたない。
- ・ 別途「お口の健康手帳」(有料)を持っており、こちらに詳しく記述されているから。
- ・ おざなり、簡単、出さなければならないのでしかたなく出している。
- ・ いくつかの項目に○印をつけて少し説明。
- ・ 口腔内の状態欄記号(RF、AF、WSD等)が記載されていたが、意味不明。

- ・ 同じ様な説明書を何度も渡される。
- ・ 社内の歯科検診ですでに情報得ているため。
- ・ 説明書が簡単すぎて詳しい事が書いていない。
- ・ 治療期間が長かったが、説明書は終盤に1度のみ「中程度歯周炎」(簡単な文面である)。
- ・ 患者へ向けたメッセージになっていない。
- ・ 余計な治療費がかかる。
- ・ 口頭での説明と重複している。
- ・ 治療法の選択を求められても困る。自分で判断するのは難しい。
- ・ 分かりやすく、説明して頂きたい。歯のケアについてアドバイスをして頂きたい。
- ・ 画一的な印刷物で、患者本人の病状に対応していない。
- ・ もっと詳しく説明してほしい。

10) 今後も説明書（文書）をもらいたい

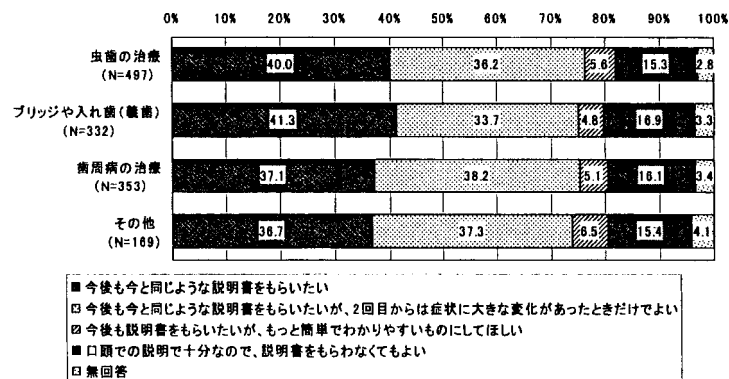
今後も説明書（文書）をもらいたいについては、約 75%が文書をもらいたいと回答している。その内訳としては、「今後も今と同じような説明書をもらいたい」（39.5%）が最も多く、次いで「今後も今と同じような説明書をもらいたい、2回目からは症状に大きな変化があったときだけでよい」（35.8%）となっている。なお、15.4%の患者は、「口頭での説明で十分なので、説明書をもらわなくてもよい」と回答している。

図表 50 今後も説明書（文書）をもらいたい



受診理由別（虫歯の治療、歯周病の治療、ブリッジや入れ歯（義歯）等）で、文書提供に対する患者の考えに大きな差は認められなかった。

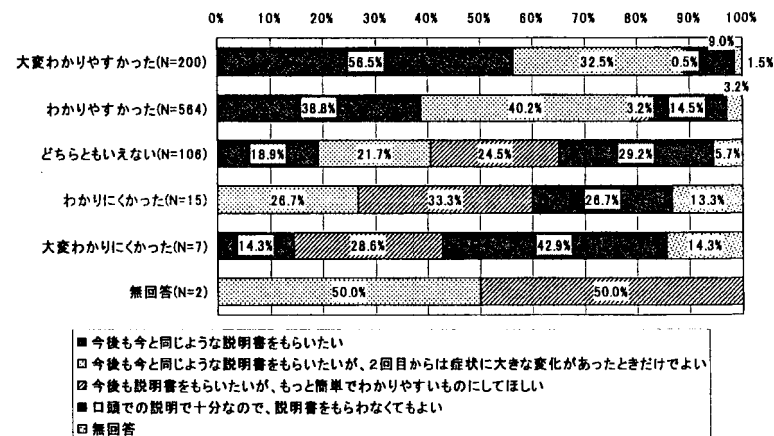
図表 51 今後も説明書（文書）をもらいたい（受診理由別）



※受診理由は複数回答。

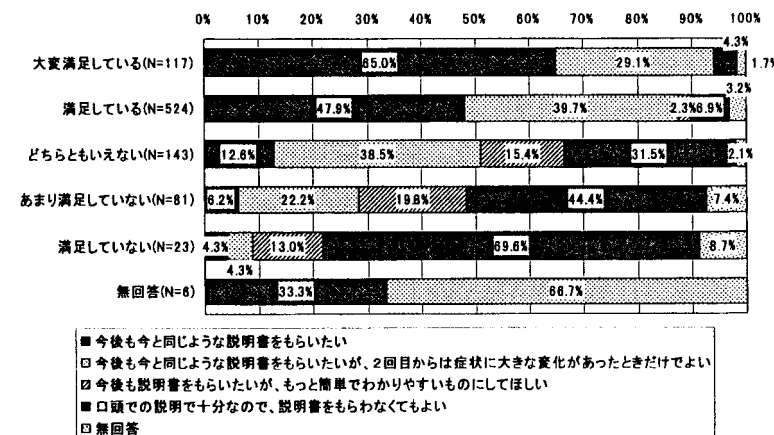
わかりやすいと評価している患者ほど、「今後も今と同じような説明書をもらいたい」との回答が多い。

図表 52 今後も説明書（文書）をもらいたい（わかりやすさ別）



満足度が高い患者ほど、「今後も今と同じような説明書をもらいたい」との回答が多い。

図表 53 今後も説明書（文書）をもらいたい（満足度別）



6. まとめ

1) 施設調査結果から

- ・ 歯科医療機関全体（診療所・病院・大学病院）で、1日あたりの文書を作成して提供する総患者数は約5人であり、総患者数に占める割合は約3分の1であった（図表16）。また、1日あたり文書作成に要する時間は歯科医療機関全体（診療所・病院・大学病院）で約26分であり、1日の総診療時間に占める文書作成時間割合は約8%であった（図表17）。これより、1人あたりの文書作成に要する時間は、約5分程度（=約26分/約5人）と推察できた。
- ・ 文書の作成方法は、「市販の様式に手書き」との回答が多かった（図表19）。
- ・ 文書による情報提供は、「患者さんの待ち時間が長くなった」、「文書の控への管理が大変になった」、「実際の治療を行う時間が減った」、「文書提供に時間がかかり、診療時間帯を延長した」、「文書提供に時間がかかるため、1日の患者数が減った」等の影響があることが分かった（図表23）。
- ・ 歯科医師から見た治療内容に関する患者の満足度および理解度については、文書の提供を受けても「変わらない」との回答が多く見られている（図表29、図表30）。

2) 患者調査結果から

- ・ 調査対象患者の約4割が、歯科診療において文書提供を受けていた（図表39）。
- ・ 提供された文書について、患者の約85%が「わかりやすい」と回答しており（図表41）、文書による情報提供については、患者は概ね満足（71.7%）していることが明らかとなった（図表44）。
- ・ 今後も文書をもらいたいとの回答が8割を超えていたが、文書提供のあり方については、「今後も今と同じような説明書をもらいたい」との回答が4割程度である一方、「今後も今と同じような説明書をもらいたいが、2回目からは症状に大きな変化があったときだけでよい」、「今後も説明書をもらいたいが、もっと簡単でわかりやすいものにしてほしい」などの意見も4割程度みられた（図表50）。

歯科診療における文書提供に関する調査

※回答の欄は、おてはまる番号を○（マ）で囲んでください。また、（ ）内、および（2）の枠内には員数を記入し、月単位をご記入ください。（ ）内には任意の数字を記入し、0（ゼロ）をご記入ください。

(1) 実施状況（平成18年11月現在）についてお聞きします。

所在地（郵便番号）	（ ） 番（ ） 丁（ ） 番（ ） 号（ ） 区（ ） 市（ ） 町（ ） 丁目（ ） 番（ ） 号	
医療機関別	1. 診療所 2. 診療所	
開設主体	1. 国（厚生労働省、国立病院機構、国立大学法人、労働者健康福祉機構等） 2. 公的医療機関（都道府県、市町村、市県、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険連合会等） 3. 社会福祉施設団体（全国社会福祉協議会連合会、厚生年金事業団系、利尻病院、新設後援会及びその連合会、非営利組合及びその連合会、国民健康保険連合会等） 4. 法人（公益法人、医療法人、学校法人、社会福祉法人、医療法人、会社、その他の法人等） 5. 個人	
提供診療科（提供種別）	1. 歯科 2. 矯正歯科 3. 小児歯科 4. 歯科口腔外科	
診療時間許可	1. 常時診療可能 2. 夜間診療可能	
職員数（常勤職員）	1. 医師	() 人
	2. 歯科衛生士	() 人
	3. その他	() 人
※常勤職員については、以下の方法で算出してください。また、労働協約の適用範囲（労働協約の適用範囲）で算出してください。 勤続期間に1年以上勤務している労働者の12月分の勤続期間 + (労働協約が定めている労働者の12月分の勤続期間) × 4 勤続期間に1年以上勤務している労働者の12月分の勤続期間 + (労働協約が定めている労働者の12月分の勤続期間) × 4		
提出書類の種類	1. 診療時間表 2. 歯科疾患総合資料 1 3. 歯科疾患総合資料 2	

(2) 1週間の診療時間、総診療時間、文書作成に費やした時間についてお聞きします。平成18年11月15日（水）～21日（火）の期間における、それぞれの時間を黒枠内にご記入ください。

※ 文書とは、医師が患者さんに提供し、患者さんに渡すものを指し、保証（保証）は含まれません。
※ 初診・再診合計の欄には、初診患者と再診患者の合計をご記入ください。再診患者の欄には、「0（ゼロ）」とご記入ください。文書作成を行なった日については、再診患者の欄には「0（ゼロ）」とご記入ください。

診療時間	11/15 (水)	11/16 (木)	11/17 (金)	11/18 (土)	11/19 (日)	11/20 (月)	11/21 (火)
①初診人数	人	人	人	人	人	人	人
②再診人数	人	人	人	人	人	人	人
初診・再診合計	人	人	人	人	人	人	人
※初診・再診合計	人	人	人	人	人	人	人
うち、文書を作成して提供した患者数	人	人	人	人	人	人	人
1日の総診療時間(分)	分	分	分	分	分	分	分
文書提供に要した時間(分)	分	分	分	分	分	分	分
うち、文書提供に要した時間(分)	分	分	分	分	分	分	分

※時間数については、5分を最小単位として、整数でのご記入下さい。

(3) 文書の作成方法や文書提供による診療への影響についてお聞きします。

文書作成方法	※1つだけ選択 1. コンピュータ 2. 市販の様式に手書き 3. 患者さんへの指導や説明がより確実に行えるようになった 4. すべて手書き
文書提供による診療への影響	※1つだけ選択 1. 患者さんへの指導や説明がより確実に行えるようになった 2. 口頭での説明時間が減った 3. 患者さんの理解が以前より深まった 4. 実際の治療を行う時間が減った 5. 文書提供に時間がかかるため、1日の患者数が減った 6. 文書提供に時間がかかり、診療時間帯を延長した 7. 患者さんの待ち時間が長くなった 8. 文書の控への管理が大変になった 9. 特にない 10. その他
※その他と回答した場合は、具体的な内容についても記入ください	自由記入欄

(4) 歯科医師のお立場から見た、文書の提供を受けた患者さんの主な反応についてお聞きします。

治療に対する患者さんの反応	※1つだけ選択 1. 満足度は向上した 2. 満足度は少し向上した 3. 変わらない 4. 満足度は少し低下した 5. 満足度は低下した 6. わからない
治療内容に関する患者さんの理解は深まりましたか	※1つだけ選択 1. 理解度は向上した 2. 理解度は少し向上した 3. 変わらない 4. 理解度は少し低下した 5. 理解度は低下した 6. わからない
歯科疾患総合資料および保証書、再診患者の患者さんの満足度に関する患者さんの反応は以前より深まりましたか	※1つだけ選択 1. 自書を書くことこれらの指導は行っていない 2. すでに自書した 3. 自書した方が読解を求められた 4. 自書した方がかなり理解的だった 5. 自書しなかった
患者さんの反応について、その他お気づきの点がありますか	※自由記入欄

(5) 歯科診療における文書提供に関するご意見等がございましたら、自由にご記入ください。

自由記入欄

期間は以上です。ご協力いただきありがとうございます。

歯科診療における文書提供に関する調査

＜本調査票は、事務担当の方がご記入ください＞

※回答の際は、あてはまる番号を○(マル)で囲んでください。また、()内、および(2)の枠内には、氏名、姓、年齢、用姓字をご記入ください。()内に入る欄がない場合は、「0 (ゼロ)」をご記入ください。

(1) 貴施設の状況 (平成18年11月現在) についてお聞きします。

Table with 2 columns: 所在地 (郵便局名) and 施設主体. Includes fields for hospital name, address, and organizational details.

(2) 歯科診療における文書提供に関するご意見等がございましたら、自由に記入ください。

Text area for providing comments on document provision in dental clinics.

質問は以上です。ご協力いただきありがとうございます。

No.

歯科診療における文書提供に関する調査

＜本調査票は、歯科医師の方がご記入下さい。＞

※回答の際は、あてはまる番号を○(マル)で囲んでください。また、()内、および(2)の枠内には、氏名、姓、年齢、用姓字をご記入ください。()内に入る欄がない場合は、「0 (ゼロ)」をご記入ください。

(1) 1週間の総患者数、総診療時間数、文書作成に費やした時間についてお聞きします。平成18年11月15日(火)～21日(火)の期間における、それぞれの期間数を業種別に記入してください。

Table with 10 columns for patient counts and time spent on document creation across different clinic types.

(2) 文書の作成方法や文書提供による診療への影響についてお聞きします。

Form for describing document creation methods and their impact on dental treatment.

(3) 歯科医師の立場から見た、文書の提供を受けた患者さんの主な反応についてお聞きします。

Form for reporting patient reactions to document provision.

質問は以上です。ご協力いただきありがとうございます。

No.

歯科診療における文書提供に関する調査

＜本調査票は、事務担当の方がご記入ください＞

※回答の際は、あてはまる番号を○(マル)で囲んでください。また、()内、および(2)の枠内には、氏名、姓、年齢、用姓字をご記入ください。()内に入る欄がない場合は、「0 (ゼロ)」をご記入ください。

(1) 貴施設の状況 (平成18年11月現在) についてお聞きします。

Table with 2 columns: 所在地 (郵便局名) and 施設主体. Includes fields for hospital name, address, and organizational details.

(2) 歯科診療における文書提供に関するご意見等がございましたら、自由に記入ください。

Text area for providing comments on document provision in dental clinics.

質問は以上です。ご協力いただきありがとうございます。

No.

アンケート用紙

歯科診療に対する患者意識調査

平成18年度診療報酬改定結果検証に係る特別調査 (厚生労働省委託事業)

以下のアンケートでお伺いする「説明書」とは、歯痛・歯周病、差し歯・歯肉病、差し歯・入れ歯の治療を受ける患者様にお渡しするもので、治療計画や治療方法、家庭での歯みがき方法や入れ歯の手入れ方法などが記載されており、歯科医師から患者様に対して指導を行った際にお渡しのすることになっております。

◎ ご記入方法

- ▶ このアンケートは、被保険者様ご自身がお答えください。(ご家族の状況についてお答えいただく必要はありません)
▶ 回答の際には、あてはまる番号を○(マル)をつけてください。()内には敬称や用語をご記入ください。

【記入例】 あなたが48歳の男性の場合

(1) あなたの性別と年齢をお答えください。

Form for gender and age: 性別 (1) 男性 2. 女性 年齢 (45) 歳

- ▶ 質問によって、あてはまる番号1つだけ○をつけるもの、あてはまる番号すべてに○をつけるものがありますのでご注意ください。
▶ 回答世代別の「その他」をされた方は、その内容を具体的に()内にご記入ください。
▶ 質問は(1)から(9)まであります。質問(4)で「1. 説明書をもらった」と回答した方は、質問(5)以降の全ての質問にお答えください。質問(4)で「2. 文書はもらわなかった」としくは「3. 覚えていない」と回答しない方は、そこでアンケートは終了です。

◎ ご返送方法

- ▶ ご回答終了後、このアンケート用紙を同封の返信用封筒に入れ、12月28日(木)までにご返送ください。(封筒に切手貼る必要はありません)

お心仪いごめですが、回答ご協力いただきました皆さまよりお願い申し上げます。では、ページを開いて質問へお進みください。

(1) あなたの性別と年齢をお答えください。

Form for gender and age: 性別 1. 男性 2. 女性 年齢 () 歳

(2) あなたが現在受診している (あるいは過去4ヶ月以内に受診した) 歯科医療機関について、所在地 (都道府県名) と医療機関の種別をお答えください。医療機関の種類については、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

※過去4ヶ月以内に、複数の歯科医療機関を受診した場合には、いちばん最近に受診した医療機関についてお答えください。

Form for clinic location and type: 所在地 (都道府県名) () 市・区・町・村 医療機関の種類 1. 歯科大学 (歯学部) 附属病院 2. 病院の歯科や口腔外科 3. 歯科医院 (クリニック、診療所)

(3) あなたが歯科医療機関を受診した理由をお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

Form for reasons for visit: 1. むし歯の治療 2. 歯肉病の治療 3. プリッジや入れ歯 (歯橋) 4. その他 ()

(4) あなたが受診した際、治療内容 (治療計画、治療方法、家庭で歯をつけることなどが記載された書類 (以下では、「説明書」とよびます) をもりましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

Form for receiving explanation book: 1. 説明書をもらった 2. 説明書はもらわれなかった 3. 覚えていない 上の質問で「1. 説明書をもらった」と回答した方は、「(5) 以降の質問にお答えください。」

(6) どのような内容の説明書をもりましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

Form for explanation book content: 1. むし歯や歯肉病についての説明書 2. お口の状態についての説明書 3. 治療計画や治療方法についての説明書 4. 歯みがき方法についての説明書 5. プリッジや入れ歯の手入れについての説明書 6. その他 ()

(6) 説明書の内容はわかりやすかったですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

Form for ease of understanding: 1. 大変わかりやすかった 2. わかりやすかった 3. どちらともいえない 4. わかりにくかった 5. 大変わかりにくかった

(7) 説明書に対して、あなたはどの程度満足していますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 大変満足している 2. 満足している 3. どちらでもない
 4. あまり満足していない 5. 満足していない (不満である)

上の質問で「1. 大変満足している」「2. 満足している」と回答した方は、その理由を下記から選び、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 傷や痛くさむの状況がよく理解できたから
 2. 治療内容や説明がよく理解できたから
 3. 口頭での説明よりもよく理解できたから
 4. 自宅で痛みがきや歯の手入れに役に立つから
 5. 恐れないよう、何度もくり返して説明するから
 6. 自分で歯を大切にしたいので、困難を乗り越えたいという気持ちが高まったから
 7. その他
具体的に

1. いつも同じような内容だから
 2. 口頭での説明で十分だから
 3. 説明書を作成する時間を、もっと治療時間にあててほしいから
 4. 待ち時間が長えたから
 5. 説明書を事務的に渡されただけで、口頭での説明が少なかったから
 6. 説明書の内容が専門的で難しいから
 7. 説明書の分量が多すぎるから
 8. その他
具体的に

(8) 今後も、治療の際に説明書をもりたいと思いますか、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 今後とも同じような説明書をもりたい
 2. 今後とも同じような説明書をもりたいが、2回目からは症状に大きな変化があったときだけでよい
 3. 今後説明書をもりたいが、もっと簡単にわかりやすいものにしてほしい
 4. 口頭での説明で十分なので、説明書もらわなくてもよい

(9) 治療の際に説明書もらうことについて、ご意見などございましたらお書きください。
自由に記入ください

質問は以上です。ご協力いただき誠にありがとうございました。
 このアンケート用紙を同封の返信用封筒に入れ、12月8日（木）までにご送付ください。